

察セシ行狀ハ(接見文信等ニ付キ)毎日第二號書式ノ視察原簿ニ記載シ翌月三日迄ニ司獄官會議ニ付シ署長(支署ハ支署長)ノ決議ヲ經テ行狀錄ニ轉記スヘシ

第六條 行狀錄ハ囚人懲治人ニシテ刑期六月以上ノモノハ第三號書式ヲ用ヒ六月以下ノモノ及ヒ刑事被告人ニハ第四號書式ヲ用ユヘシ

第七條 看守長ハ第五號書式ノ勘査期名簿ヲ製シ毎月加除シ賞與勘査ノ期ヲ檢スヘシ

第八條 賞與勘査期名簿ニ依リ行狀錄ニ照ラシ毎月一回特赦假出獄ハ三ヶ月ニ一回以上之レヲ司獄官會議ニ付シ調査ス但參考ノ爲メ看守ヲ招集シテ諮問スルコトヲ得

第一號書式

行狀視察日記	
月	日
看守	

第二號書式

行狀視察原簿	
刑名	
長野縣	

此日數	起明治年月日 至明治年月日	此日數	起明治年月日 至明治年月日	此日數	起明治年月日 至明治年月日	此日數	起明治年月日 至明治年月日	此日數	起明治年月日 至明治年月日

第三號

一 期 二 期 三 期 四 期 五 期 六 期	刑 期 四 分 ノ 三 全上四分ノ一	行狀録及ヒ調査期表	
		刑名	刑期

監獄醫執務心得左之通相定ム

明治二十五年十二月二十四日

長野縣知事 淺田徳則

- 第一條 監獄醫ハ毎日監内工場炊場浴室ヲ一回以上巡視スヘシ
- 第二條 巡視中疾病ニ罹ルモノト認ルキハ直ニ診斷相當ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第三條 病監入療ニ係ルモノハ便宜往診スヘシ
- 第四條 囚人出入ノ際體質ノ検査ヲ了レハ其體量ヲ檢シ身分帳簿ニ記入スヘシ
處罰者執行ノ際體質證明亦同シ
- 第五條 恢復期患者トシテ運動ノ必要アルキハ典獄ヘ具申スヘシ
- 第六條 患者日表及月表ハ別紙第一號第二號書式ニ依リ調製スヘシ
- 第七條 調治簿ハ別紙第三號書式ニ依リ調製スヘシ
- 第八條 醫務所ニハ左ノ帳簿ヲ備置クヘシ
 - 一 看守押丁志願人體格検査簿
 - 一 刑事被告人調治簿
 - 一 囚人調治簿
 - 一 在監人病床日誌
 - 一 男女刑事被告人入療通知簿
 - 一 男女囚病人監出入通知簿
 - 一 在監人病用飲食物給與通知簿
 - 一 在監人檢視簿

五百九十一

- 一 在監人患者危篤通知簿
- 一 監内衛生具申簿
- 一 醫務所備品並藥品請求簿
- 一 出入囚體質調査簿
- 一 藥品受拂簿
- 一 藥品受拂明細簿
- 一 醫務所備付器具目錄
- 一 在監人患者體温表
- 一 在監人患者日表
- 一 在監人患者月表
- 一 處方箋綴
- 一 囚人臨時行廁並輕役通知簿

カノ部
監獄

日 月	症 往 既	轉 歸	感 數	發 病	病 名	原 因	處 方		
							婚 姻 上 ノ 關 係	職 業	

長
野
縣
五百九十三

カノ部

監獄

長

野

縣

五百九十五

五百九十四

○長野縣達甲第四十二號

監獄支署

看守押丁勤務法別紙之通相定ム

明治二十三年十二月八日

長野縣知事 内海忠勝

看守押丁勤務法

- 第一條 看守押丁ハ分掌例其他ノ規程ニ依リ諸般ノ事務ニ從事ス
- 第二條 看守押丁ハ毎日現在人員ヲ凡ソ三分シ其二分ヲ日勤一分ヲ夜勤トス
- 第三條 日勤看守押丁ノ内若干名ヲ工業擔當トシ左ノ事務ヲ取扱ハシム
 - 一 看守ハ監獄則第五條ニ依リ科程ノ了否點檢シ日課製ノ事
 - 一 押丁ハ監獄則第七十條ニ依リ工業器具及素品製ノ受渡シヲ爲ス事
- 第四條 病氣其他ノ事故ニ依リ配置上差支ヲ生シタルハ日勤ヲ夜勤ヲ日勤ニ勤續シ又ハ臨時繰上ルヲアルヘシ
- 第五條 日勤ハ就役一時間後ヲ以テ交代期トシ其二十分前出勤點檢ヲ受ケ夜勤ハ還房開始ヲ以テ交代期トシ其二十分前出勤點檢ヲ受ケ交代ノ際ハ必人員ヲ點檢受授スヘシ
 - 但起床就役ニ差支ヲ生スルハ之レニ對スル日勤ハ隨時早出勤務スルモノトス
- 第六條 日勤夜勤ノモノ共退署ノ際ハ交代後十分間ヲ經テ點檢ヲ受ケ勤務中ノ事故ヲ申告スルモノトス
- 第七條 日勤ハ一週間勤續ニ於テ半日二週間勤續ニ於テ全日ノ休暇ヲ與フルヲアルヘシ
 - 但本條ノ休暇ハ拜命後三ヶ月ヲ經過シタル者ニアラサレハ與フルノ限リニアラス

カノ部 監獄

廿四年十二月廿五日
 令第五百六十六號
 第三條ノ改正
 廿五年十二月廿九日
 第六條ヲ追加スル
 第六條ノ下ヲ加ス

- 第八條 夜勤ハ勤務時間三分一以内小憩ヲ與フルヲアルヘシ
- 第九條 出勤中引籠リタル并當然公暇ヲ得ヘキ場合ヲ除クノ外勤務時間三分二以上ヲ經過スルニアラサレハ勤務日數ニ算入セス
- 第十條 夜勤ハ凡ソ三十度出勤シアルヲ以テ日勤ニ代ルヘキモノトス

○告示第四十八號

看守押丁召募規則別冊之通改正ス

明治十九年十月十二日

長野縣知事 木梨精一郎

看守押丁召募規則

- 第一條 看守押丁ハ志願ノ者ヲ以テ検査合格ノ上採用スヘシ其格ハ左ノ如シ
 - 一年齡二十一年以上滿三十五年以下ニシテ徵兵ニ相當セサル者
 - 但シ年齡十八年以上四十五年以下ノモノト雖モ體質強壯且職務ニ堪ユル見込アルモノハ例ニ照シテ採用スルヲアルヘシ
 - 一身幹曲尺五尺以上ノ者
 - 一體格體質強壯ニシテ職務上ニ害アル疾病ナキ者
 - 一品行方正ニシテ酒癖又ハ暴行ノ癖ナキ者
 - 一讀書普通ノ文書ヲ讀ミ得ル者
 - 一作文簡易ナル眞片假名文及通俗往復文ヲ綴リ得ル者
- 但押丁ハ眞片假名文ヲ除ク

一算術和洋ヲ問ハス單比例及ヒ加減乗除ノ問題ニ應答シ得ヘキ者

一滿二ケ年以上勤續差支ナキ者

第二條 前條合格ノ者ト雖モ左ノ諸件ニ牴觸スルモノハ看守押丁ニ採用セス

- 一重罪ノ刑ニ處セラレ又ハ輕罪重禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ全上ノ刑ニ處セラレヘキ罪ヲ犯シ
- 單ニ監視ニ附セラレタル者及ヒ輕罪輕禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ輕過セサル者
- 但舊法ニ據リ施體ノ刑ニ處セラレタル者ハ總テ本文ノ權衡ニ準ス

- 二 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタル者
- 三 巡查看守懲罰例又ハ官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ若クハ故ナク巡查看守ヲ辭職シ二年以上ヲ經過セサル者

但押丁ハ此限ニアラス

四 身分不相應ノ負債アル者又ハ身代限リノ處分ヲ受ケ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者

第三條 看守若クハ押丁ヲ志願スル者ハ別紙書式ニ據リ志願書ニ誓約書履歷書身元引受證書等ヲ添ヘ本縣監獄課ヘ差出スヘシ

第四條 身元引受人ハ親屬故舊ヲ問ハス本縣下在籍ノ者ニシテ滿二十年以上ノ戶主ニ限ルヘシ

第五條 監獄課ニ於テハ日時ヲ定メ試験ヲナシ合格ノ者ハ順次採用シ不合格者ハ志願書ヲ還付ス

第六條 一度試験ヲ受ケ不合格ノ者ハ六ケ月ヲ經過スルニアラサレハ再ヒ志願スルヲ得ス但先ニ看守ヲ志願シ後押丁ヲ志願スルハ此限ニアラス

書式 用紙美濃紙

(看守)(押丁)志願書

何府何國何町何番地華士族平民
何某長次男伯叔父兄弟甥孫

何 某

何年何月何日生
當何月何年何ヶ月

右者本縣(看守)(押丁)奉職志願ニ付御試驗ノ上御採用被成下度此段奉願候也

右

明治何年何月何日

何 某印

長野縣知事何某殿

前書ノ通出願ニ付取調候處召募規則第二條ニ牴觸ノ虞無之ニ付與書候也

何町村戸長

明治何年何月何日

何 某印

誓約書

肩書前例ニ同シ

何 某

今般(看守)(押丁)志願候處御採用相成候上ハ左ノ條項確守可致候

一職務ノ規則及ヒ上官ノ命令ヲ遵守スルハ勿論在監人ノ囑託ヲ受ケ他人ニ通信シ或ハ物件ヲ贈

答シ又其媒介ヲナサハル事

一滿二ヶ年内ニ辭職セサル事

- 一職務上權外ノ事ヲ論議セサル事
 - 一濫リニ金錢ヲ借用セサル事
 - 一酒色ニ沈溺セサル事
- 右誓約候處相違無之候也

右

明治何年何月何日

何 某印

長野縣知事何某殿

身元引受證書

肩書前例ニ同シ

何 某

右ノ者今般本縣(看守)(押丁)志願候處御採用相成候上ハ萬一不都合有之辨償等可致ハ勿論總テ本人一身上ニ關スル儀ハ何事ニ限ラヌ私ニ於テ引受可申候依テ身元引受證書如斯候也

身元引受人

長野縣何郡何町村何番地

華士族平民

何 某印

明治何年何月何日

長野縣知事何某殿

履歷書

肩書前例ニ同シ

何年何月何日

一何々申付候事

何府縣

月俸金何圓給與候事

同

一任何々官

何省廳

同

一免本官

何々々

同

一何々ニ付賞罰

何々々

官廳ニ奉職セシメ無之モノハ學業技術修業其他必要ト認ムルモノヲ記載スヘシ
右之通御座候也

明治何年何月何日

何 某印

○監規第四號

看 守
押 丁

擊劍演習規則別冊之通改正相成候條右ニ準據演習スヘシ

長野縣監獄署長

典獄 長野 範亮

明治十九年十月十六日

看守押丁擊劍演習規則

- 第一條 看守押丁非番ノ者ハ毎月一六三八ノ日ヲ定日トシ擊劍ヲ演習スルモノトス
- 第二條 幹事二名(戒護係看守長ヲ以テ之ニ充ツ)教授及ヒ助教授一名ヲ置クモノトス
- 第三條 幹事ハ演習ニ關スル一切ノ事務ヲ管理シ其取締ヲナスモノトス
- 第四條 開會ハ定日午後二時ヨリ同四時迄トス
但事務ノ都合ニ依リ幹事ニ於テ時限ヲ伸縮スルコトアルヘシ其時ハ之ヲ揭示ス
- 第五條 正當ノ事故アリテ缺席セントスルモノハ開會時間前其事由書ヲ幹事ニ差出スヘシ
- 第六條 幹事ハ毎半年勤怠表ヲ製シ典獄ニ差出スヘシ
- 第七條 出席員ハ少クモ三回以上演習スヘシ若所勞等ニテ演習スル能ハサルキハ其事由ヲ幹事ニ届ケ出テ其許可ヲ得タル後ニアラサレハ擅ニ休演スルコトヲ得ス
- 第八條 演習場ニアツテハ互ニ禮義ヲ正シクシ幹事教授ノ指揮ニ從フヘシ
- 第九條 幹事教授ハ會員ノ技術優劣ヲ檢スル爲メ一月一回典獄ノ認可ヲ得テ試験スルコトアルヘシ
- 第十條 技術ノ優劣ヲ甲乙丙丁ノ四級ニ分チ其等級氏名ヲ會場ニ揭示スヘシ
- 第十一條 竹刀ノ長サハ曲尺四尺ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第十二條 外來ノモノニハ何人ニ拘ハラス典獄又ハ幹事ノ許諾ヲ得テ試合スルコトヲ得
- 第十三條 試合ノ場合ニ際シテハ決シテ己レカ技能ニ誇リ苟モ粗暴侮慢ノ舉動アル可カラス

○監規第五號

各監獄一般

凡司獄官吏タル者職務上囚徒ニ接スルニハ懇篤温和ヲ旨トスルハ勿論ナリト雖モ若シ其威嚴ヲ失
スルトキハ囚徒ノ輕侮ヲ來シ隨テ懲感化ノ目的ヲ害フニ至ル故ニ平素容貌服裝ヲ嚴正ニシ姿勢
舉止ニ注意シ須ラク囚徒ヲシテ司獄官吏ノ規律嚴肅ナルヲ知ラシムヘキナリ依テ左ニ其標準ヲ示
ス右ニ準學監獄ノ要旨ニ違ハサル様厚ク注意スヘシ

明治十九年十一月十八日

長野縣典獄 長野範亮

標準

- 一 頭髮ハ成ルヘク一様(頂上二寸乃至三寸)ニスヘシ
- 一 髭鬚ヲ畜ヘサルモノハ時々之ヲ剃ルヘシ
- 一 不潔汚穢ノ服又ハ靴ヲ用フヘカラス
- 一 帽ハ正ク冠リ紐ヲ掛クルモノハ領下ニスヘシ
- 一 劍柄ハ必ス前ニ出ダシ正シク帶フヘシ
- 一 制裝ヲ爲シタル片ハ左ノ所爲アルヘカラス
- 一 色換ノ眼鏡頸卷呼吸器白色外ノ襟ヲ用ヒ或ハ傘等ヲ携帶スル
- 一 黒色外ノ靴ヲ用ヒ又ハ雨雪泥路ニアラスシテ長靴ヲ用フル
- 一 紐ノ類ヲ頸ニ掛ケ又卸ヲ外シ置ク
- 一 降雨雪又ハ防寒ノ爲メニ非スシテ外套ヲ着スル

- 一 職務上無用ノ談話ヲナス
- 一 同僚ト雖モ成規ノ禮式ヲナス
- 一 制裝ヲ爲シタル片ハ姿勢ヲ嚴肅ニスヘシ
- 一 職務上常ニ好意快心ヲ以テ從事シ決シテ懈怠ノ状態アルヘカラス

○監規第四號

今ヤ日進改良ヲ謀ルノ秋ニ際シ之レカ狀況ヲ察知セサルハ管内各監獄同一方向ノ改良ヲ取ル能ハ
サルヘシ之レカ同一改良ヲ謀ルニハ各監獄ノ狀況ヲ彼是交通スルニアリ之レカ狀況ヲ彼是交通ス
ルニハ只報告ノ一方法アルノミ依テ茲ニ報告内規ヲ定ムル左ノ如シ

明治二十二年四月九日

長野縣監獄課長
副典獄 櫻井高尙

獄事報告内規

管内各監獄ノ狀況ヲ彼是相交通スル爲メ報告内規ヲ定メ爾來毎月一日十六日ノ二回監獄課ハ各監
獄へ各監獄ハ監獄課及他ノ監獄へ向ケ報告スヘシ

但該日休暇ニ當ルキハ前日ヲ以テ報告ス

一 報告ヲ爲スニハ豫メ獄事日誌ヲ備ヘ置キ治獄上要件ヲ細大トナク網羅シ左ノ各項ヲ拔萃報告
スルモノトス

但シ第九項ハ報告當日ノ調査トス

第一 治獄上ノ狀況

カノ部 監獄

- 第二 官吏縣會議員常置委員其他監內巡視ノ事
- 第三 監獄吏進退出張賞罰休暇及歸省ノ事
- 第四 在監人特赦假出獄假免懲罰及ヒ賞罰ノ事
- 第五 在監人病死變死及逃走ノ事
- 第六 死刑執行ノ事
- 第七 在監人押送ノ事
- 第八 工業ノ狀況及興廢
- 第九 米麥ノ相場
- 第十 官吏縣會議員市町村長等ノ入監及其罪質
- 第十一 其他

○監規第一三號

囚人食物購求之度數及食品之種類分量左之通相定候條此段及通達候也

明治二十二年十月十五日

長野縣第二部監獄課長

副典獄 櫻井高尙

購求度數

- 一 單ニ食費ヲ償ヒ得ル者 每月 四回
- 一 食費ノ二倍ヲ得ル者 每月 七回
- 一 食費ノ三倍ヲ得ル者 每月 十回

廿三年二月
十二日規第
一號ヲ以テ
本項追加

食物購求日

每 一日、 四日、 七日、 十日、 十三日、
月 十六日、 十九日、 廿二日、 廿五日、 廿八日、
一 囚人ノ願意ニ因リ食物購求日ヲ監獄則第十八條ニ定メタル免役日(父母喪中ノ免役日ヲ除ク)ト交換スルヲ得

食品之種類及分量

一 砂糖	三十五匁以下	一味噌	八十匁以下
一 黑砂糖	三十匁以下	一 煮餅	百四十匁以下
一 黃粉	二十匁以下	一 胡麻	二十匁以下
一 牛乳	壹合五匁	一 牛肉	二十匁以下
一 切餅	百四十匁以下	一 馬肉	五十匁以下
一 炙鹽	三十匁以下	一 胡麻鹽	三十二匁以下
一 鯉節	二十八匁以下	一 大白砂糖	三十四匁以下
一 赤飯	三合以下	一 炙餅	百四十匁以下
一 生姜	三十五匁以下	一 菓子パン	九個以下
一 食パン	半斤以下	一 魚	二十五匁以下
一 ラツキン漬	個以下	一 カラシ漬	廿匁以下
一 山葵	十匁以下	一 味噌漬	五十匁以下
一 梅漬	十個以下	一 生姜漬	十五匁以下

- 一 茹豆 三合以下
- 一 金山寺味噌 廿匁以下
- 一 卵 六個以下
- 一 芋藪付類 三百匁以下
- 右一度二品以上ノ購求ヲ許サヌ又何品ニ拘ハラヌ翌日ニ殘スヲ禁ス
但シ來ル十一月一日ヨリ施行ス
- 一 小豆 三合以下
- 一 薩摩芋 四百匁以下
- 一 鳥肉 五十匁以下

○監規第三號

這般外役所出張看守以下勤務心得假ニ別紙之通相定候條右ニ施行可有之此段及通牒候也

明治二十三年三月十一日

長野縣第二部監獄課長

副典獄 櫻井高尙

外役所出張看守以下勤務心得

- 第一條 看守長ハ看守以下ヲ指揮監督シ及ヒ諸般ノ取締ヲ爲スヘシ
- 第二條 助勤ハ命ヲ看守長ニ受ケ看守押丁ノ勤務ヲ指示スヘシ
- 第三條 看守押丁ハ看守長又ハ助勤ノ指揮ヲ受ケ戒護及營業ニ從事スヘシ
- 第四條 出張員ハ工場又ハ詰所ヲ離ルヘカラス
但工事上ニ關シ郡役所町村役場及土木課員出張先等へ協議ヲ要スルキハ看守長ハ看守又ハ雇ヲ派遣シ商議セシムヘシ
- 看守雇ニテ用辨難相成場合ニ於テハ典獄ノ指揮ヲ受ケ看守長自カラ出張スルコトヲ得

第五條 看守長(看守長出張セサル外役所ハ主任事務擔任者)交代ノ節ハ諸仕拂帳簿及現金ヲ調査受授シ連署ヲ以テ典獄ニ届出ツヘシ

第六條 出張中交代ヲ受ケタル片受交代者ハ左ノ時間ニ該地ヲ發程スヘシ

- 一 交代者午前ニ着シタル片ハ其日ノ午後
- 一 交代者午後ニ着シタル片ハ翌日ノ午前

第七條 外役所往復ノ節ハ一切他所ニ立寄ルヘカラス

○監規第一一號

監獄支署長

委任條件左之通改正ス

長野縣監獄署長

典獄 櫻井高尙

明治二十四年四月八日

- 一 看守以下成規アル諸願届ノ件
- 一 看守以下除服出仕ノ件
- 一 宿泊ヲ要セサル場所へ囚徒外役ノ件
- 一 金額三十圓未満工業素品購入ノ件
- 一 製造品賣却ノ件
- 一 在監人食糧雜費ノ件
- 一 金額三圓未満ノ備品消耗品購入修補ノ件

カノ部 監獄

一 例規ニ依リ監獄經費出納ノ件
一 給仕小使雇罷ノ件

○監規第一四號

放免曆表別紙之通制定候條記載例相添此段及通牒候也

明治二十四年五月二十日

放免歴表記載例

長野縣監獄署長

典獄 櫻井高尙

一本表ハ一年一冊トシ之ヲ十二ヶ月ニ小區分シ半葉ヲ以テ一日分ト定メ監獄署ニ於テハ刑期十五年迄ヲ執行スルヲ以テ十五冊支署ニ於テハ刑期七年迄ヲ執行セハ七冊ノ帳簿ヲ調製シ一年中ノ月日ノ順ヲ逐ヒ記入シ置キ新入囚及押送囚アリメルキハ身分帳簿編制ノ際該簿ニ依リ放免ヲ其月日ノ各葉相當欄内ニ登記之ニ依リ放免ヲ調査スル者トス
一 記入ハ最モ精確ヲ主トシ主任者ニ於テ各囚人ノ起算及監視終結ノ下ヘ押印シ調査者ニ於テハ身分帳簿ノ刑期計算ト對照ノ上刑名刑期ノ上部ヘ其確實ヲ證スル爲メ押印スヘシ
一 一囚ニシテ二刑以上或ハ換刑等アルモノハ最初放免日ノ紙葉ニ記シ備考ノ欄ニ二刑及ヒ換刑ニ依リ何年何月何日ニ送ル旨ヲ記入シ以テ次刑放免日ノ紙葉ニ轉記ス
(表式略ス)

○監規第一六號

監 獄 署
監 獄 支 署

在監人出入取扱順序別紙之通制定ス

明治二十四年五月二十九日

長野縣監獄署長

典獄 櫻井高尙

第一條

在監人出入取扱順序

新入者アルキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ
一 處刑宣告書執行命令書拘留狀收監狀其他之ニ代リ收監スヘキ効力ヲ有スル書類及送致シ來ル處ノ一件書類ヲ受付ケ先ツ署長ニ出シ檢閲ヲ受ケ收監スヘキ者ナルキハ守警課ニ交付ス守警課ハ其書類ニ基キ當該囚人ヲ糾尋シ護送者立會ノ上身體衣服ノ搜檢ヲ爲シ且庶務課主任ニ於テ携有貨物ヲ領置シ(囚人ニハ此際獄衣ヲ下付ス)タル後領收證ヲ交付ス携有貨物ハ衣服ト履物トヲ分離シ尙不潔汚穢ノ物品ハ洗滌ノ上領置スヘシ
二 右手續終レハ再ヒ一件書類ヲ庶務課ニ回付ス庶務課ニ於テハ先ツ名籍原簿囚名目錄ヲ記入シ身分帳簿ニ刑期計算其他ノ要領ヲ記載シ之ヲ署長ニ出シ刑ノ執行言渡ヲ求メタル後放免曆簿ニ記入シ宣告書其他一件書類ヲ添ヘ身分帳簿ヲ完整スヘシ刑事被告人ナルキハ名籍原簿囚名目錄ヘ記入シ名籍ヲ調製シ收監ノ言渡ヲ求ムヘシ(刑事被告人ハ名籍領置表等ト一括シテ身分帳簿ニ代用シ處刑執行ノ節囚人身分帳ヘ添付ス)
三 囚人ハ前項言渡終了セハ身分帳簿ヲ醫師ニ同達シ身體ノ強弱疾病ノ有無體量等ヲ檢按シ相當ノ箇處ニ記入適切スル處ノ役業ノ見込ヲモ記載スヘシ工業主務ハ醫師ノ檢按ヲ斟酌シ相

業ヲ定メ署長ノ裁決ヲ經テ之ヲ記入シ給與主務ニ回達シ食量ヲ記載ス終ラ戒護主務ニ送リ
 罪質年齡犯數等ノ關係ヲ省察シ居房ヲ定メ之ヲ記載ス尤モ囚人ハ入監當日ヨリ凡三日間ハ
 獨房ニ拘禁シ房內相當ノ役ニ服セシムヘシ

四 刑事被告人ハ前項ノ手續ヲ爲サス戒護主務ニ於テ罪質共犯年齡犯數等ヲ鑑ミ居房ノ配設ヲ
 爲スヘシ

第二條 前條ノ手續了レハ身分帳簿ヲ庶務課主任ニ返還シ監視アル者ハ判決書ヲ謄寫シ正副トモ
 本簿ニ合綴シ署長ノ檢印ヲ受クヘシ

第三條 刑事被告人裁判確定シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テモ前條囚人新入監ノ例ニ依ル
 第四條 休暇日又ハ退署後ニ到リ新入監者アルハ宿直ニ於テ携有貨物ヲ領置シ名籍ノ要領ヲ摘
 書シ翌日庶務課主任ヘ引繼キ前數條ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 囚人ニ關係スル在監中ノ事項ハ凡テ身分帳簿ニ記入或ハ合綴ス
 身分帳簿ハ表紙身分記錄表作業表懲罰表行狀錄及勘查期表名籍領置貨物表領置金渡表等ヨリ成
 立スル者ニシテ尙ホ囚人ニ關係スル書類ノ原稿取扱命令宣告書命令書等ヨリ信書令狀ノ謄本ヲモ
 合綴或ハ付着シ置クモノトス

作業表ハ止ムヲ得ス役業ヲ轉換セント欲スルハ之ヲ司獄官會議ニ付シ身分帳簿ニ依リ審議シ
 其都度相當欄ニ記入ス

懲罰表ハ獄則違背者アリタルキ看守長自ラ犯行欄ニ其理由及處罰ノ目的本囚ノ性質等ヲ記シ
 教誨師ノ意見ヲ聞キ以テ署長ニ提出ス署長ハ懲罰欄ニ自ラ之ヲ裁決ヲ記載シ執行ヲ看守長ニ命
 ス看守長ハ其執行ヲ掌トリ自己管掌ノ懲罰簿ヘ記入シ執行簿ノ上執行欄及懲罰簿番號年月日欄

ヘ之ヲ記入シ署名押印スルモノトス

但シ本項懲罰言渡前司獄官會議ニ付スルヲアルヘシ
 行狀錄及勘查期表ニ記載スル事項アリタルハ司獄官會議ニ於テ審議記入スル者トス
 領置貨物表ハ物品ニ就キ出入ヲ明ニシ本人ヘ下付セシ者ト雖モ一目其理由ヲ明瞭ナラシムヘシ
 領置金品渡簿ハ所持金人別簿給與金人別簿ニ換フル者ニ付之ニ依リ收支ヲ明ニシ決算スル者ト
 ス

取扱命令ハ監視者假住所取調監視人送付狀放免報知等ノ原稿ト成ル可キ者故處理ノ當時必ス其
 日時ヲ記入シ主任押印スヘシ照會ハ一定ノ活版用紙ニ書キ加ヘ發送スルヲ以テ別ニ扣ヲ要セス
 ト雖モ規定外ノ事項ヲ記入スルハ本紙相當ノ位置ヘ其事項ヲ掲載スヘシ名籍ハ規定ノ記載法
 ニ依ル

第六條 在監人出監スル者アルハ左ノ手續ヲ爲ス可シ

- 一 刑事被告人ニシテ出監ノ通知アリタルトキハ身分帳簿ヲ以テ出監ノ言渡ヲ署長ニ求メ衣體
 ヲ搜檢シ領置貨物ヲ其表ニ照シ下付本人ヲシテ領收ノ證ヲ徵シ終テ釋放スヘシ
- 二 被告人ヲ釋放シタルハ出獄帳簿ニ記入シ身分帳簿ノ終結ヲ爲ス可シ
- 三 囚人滿期放免者アルハ凡ソ三日前ニ於テ不時放免室ヘ獨居セシメ房內相當ノ役ニ服セシ
 メ且給與金取調ノ準備ヲ爲ス可シ
- 四 放免室ニ在レ間ハ署長看守長教誨師親ク之ヲ訪問シ孰レノ地ニ放免セラレントスルカ又將
 來ノ目的等ヲ訊問シ以テ改過遷善ノ徵效有無ヲ審判シ之ヲ司獄官會議ニ提出其意見ヲ放免
 ノ際監視人送付狀ニ記載シ警察署ヘ通知スヘシ

五 教誨師ハ囚人放免室ニアル間ハ日々教誨ヲ施シ出獄後齊家修身ノ道ヲ懇説スヘシ

六 放免當日ニ至レハ可成早朝ニ身分帳簿ヲ以テ署長ニ放免言渡ヲ求メ然後獄衣ヲ還納セシム

貨物交付ノ手續ハ本條第一項末文ニ依ル

七 衣體ノ搜檢ヲ爲シ監視者ハ警察署へ押送シ其他ハ直ニ解放スヘシ

第七條 前條ノ手續ヲ了レハ出獄帳簿ニ記入シ身分帳簿其他諸記録ノ終結ヲ爲シ放免ヲ本籍役場

へ通報スヘシ

第八條 囚人身分帳簿終結ノ年月日及出監番號ハ朱字ヲ以テ記入スヘシ

第九條 休暇日又ハ退署後放還スヘキ在監人ハ守警課ニ於テ出監ノ取扱ヲ爲シ書類ハ翌日庶務課

へ回付スヘシ

第十條 此順序ニ從ヒ在監人ヲ呼出シ又ハ收監スル等ノ事務ヲ取扱ハシムル爲メ看守又ハ押丁一

名ヲ調所擔當ニ充ツルコトヲ得

○監規第二〇號

監 獄 署
監 獄 支 署

看守長所管諸簿表式從來一定セス區々相成取扱上不便不少且左記新制ノ諸簿表或ハ尤必要欠クヘ
カラサルモノニ付書式記載例及説明ヲ付シ達致候條右ニ準據直ニ施行相成度候也

長野縣監獄署長

明治二十四年六月十三日

典獄 櫻井高尙

看守長諸帳簿之件

一 在監現人員報告表

本表ハ一ヶ月一枚トシ日々記入毎朝前日現員ヲ署長ニ報告スルモノトス署長ハ身分帳簿主任ノ
造ル處ノ在監人日表ニ對照シ檢印ノ上下付ス

在監人日表ハ出入ノ記載アル名籍原簿及出獄帳簿ヨリ材料ヲ乘リ記載スルヲ以テ即チ有ル可キ

數ニシテ本表ハ現ニ在房スル處ノ人員ニ付調製スル者ナルカ故即チ必有ノ數ナリ故ニ兩表對照

其確實ヲ明ニス本表ハ十三枚ヲ以テ一冊一年分トシ終尾殘餘ノ一枚ハ翌年ノ初ニ於テ前十二月

分ヲ合計シ統計ノ便ニス

二 囚人名簿

本簿ハ從來看守長主管ノ房分ケ名簿ニシテ尙ホ滿期放免ノ日ヲ宣告書及執行命令書ニ依リ起算
記入シ之ニ依リ放免一覽表ヲ造ルモノトス

三 放免一覽表

本表ハ三ヶ月乃至六ヶ月ノ後ニ於テ放免スヘキ人名ヲ一覽スル者ニシテ黒塗木板ニ製調囚人名
簿ヨリ摘載看守長事務所ニ揭示ス

本表ノ主要ハ放免期日ニ錯誤ナカラシメンカ爲メニシテ身分帳簿主任ノ造ル處ト兩者對照シ其

確實ヲ保持ス故ニ刑期計算ハ身分帳簿及名籍ヨリ轉載スルカハ本表調製ノ主趣ニ悖戻スルヲ以

テ必ス格別ニ計算スル者トス

四 共犯名簿

從來ハ完全一定ノモノナシ故ニ本簿ニ依リ嚴密ニ區劃シ且其犯者一覽ノ便ニ供ス

五 接見簿
從來一定ノ様式ニ依リ囚人及被告人ノ二冊トシ囚名ヲいろは分ニナシ出願ノ都度記入後日全一ノ囚人ニ對シ事實搜索等ノ便ニ供ス

六 請願簿
本簿ハ囚人被告人ノ二冊トシ在監人ノ諸願ヲ看守或ハ當該囚人ヨリ申出ニヨリ記入署長ニ提出決定ヲ乞フ者ニシテ其工錢額ヲ記入スルハ送金等ノ便ニ供ス但日々數十件ニ涉ル食物購求ハ別ニ簡便ナル簿冊ヲ造ルモ妨ケナシ

七 轉房簿
本簿ニ依リ囚人轉房ヲ關係各主務ニ通知ス

八 報告簿
本簿ハ從來使用ノ日誌ヲ改名シ晝夜ノ部ヲ分チ看守押丁點檢人員在監人點檢人員總數等ヲ記入ス

九 監房定員一覽表
本表ハ黒塗木板トシ看守長事務所ニ揭示シ在房員ヲ一目ノ下ニ明ニシ超過減員等ヲ見ルニ便トス

十 勤務配置表
本表ハ尤モ必要ナル者ニシテ從來木札ヲ以テ爲ス處ノ配置方ヲ改正シタルモノナリ本表ハ配置ヲ後日ニ證シ亦休暇付與ノ度數ヲ一目ノ下ニ監督スルヲ得ヘシ配置ハ可成豫備員ヲ定メ置キ休

暇者ノ補充日々一定セサル雜務(臨時裁判押送警察押送)ニ充ツヘシ休暇ハ可成順次ニ與フルノ配置ヲ要スルヲ以テ豫備員ヲ定メ置クハ其運轉尤モ宜シ

○監視第二一號

監 獄 署
監 獄 支 署

授業手ニ左ノ帳簿ヲ取扱ハシメ素品遺拂ヲ明細確實ナラシム

長野縣監獄署長

明治二十四年六月十六日

典獄 櫻井 高尙

一 素品口別受拂簿

本簿ハ授業手ノ所管ニシテ素品請求セシ場合ニ於テ工業主務へ提出ス工業主務ニ於テハ素品交付ノ都度工業素品工別口別簿ヨリ支拂ヒ本簿受ノ部へ自ラ記入押印ノ上下付ス

授業手ハ支拂ヲ明記シ若シ殘額ヲ生シタルトキハ次回命令アリタルトキ之レカ遺拂ヲ爲スニ注意スヘシ且殘高ハ一目ニ供スル爲メ別紙表式ヲ製シ常ニ現品ト對照不時檢閱ノ便ニ供スヘシ
本簿施行ノ上ハ工業取扱手續第五條ニ在ル素品渡簿ハ廢止トス

(表式略)

○監視第二二號

看守押丁認印ハ楕圓形ニシテ直徑三分ニ且字體ハ楷行隸書ニ彫刻スヘシ

明治二十四年六月十九日

長野縣監獄署長

典獄 櫻井高尙

監 獄 署

監 獄 支 署

長野縣監獄署長

典獄 櫻井高尙

明治二十四年六月二十四日

一 工業素品

素品ハ受拂ノ都度工業素品工別口別簿ニ登記シ其殘高ト現品ト符合セシム且一覽ニ便ナル爲メ現品ハ之レヲ口別ニ區分シ一定ノ場所ニ藏置シ一口毎ニ第一號書式ノ如キ掛札(黒塗板或ハブリキ板)ヲ爲シ受拂ノ際差引記載シ常ニ現品ヲ表示スルモノトス
授業手ニ交付セシ素品ニシテ殘高ヲ生シタルモ亦本文ノ取扱ニ依ル

一 工業製造品

製造品ハ受拂ノ都度工業製造品工別口別簿ニ登記シ其殘高ヲ現品ト符合セシム且一覽ニ便ナルカ爲メ現品ハ之レヲ口別ニ區分一定ノ場所ニ藏置シ一口毎ニ第一號書式ノ掛札ヲ爲シ受拂ノ際差引記載シ常ニ現品ヲ表示スルモノトス

一 工業器械

器械ハ別紙第二號雛形ニ依リ工業器械臺帳ヲ調製シ置キ受拂貸渡修繕等ヲ精確ニ記載シ其殘高ト倉庫ニ在ル現品ト符合セシム且一覽ニ便スル爲メ現品ハ之ヲ品目ニ別テ一定ノ場所ニ藏置一

品目毎ニ第一號書式ノ掛札ヲ爲シ出入ノ際差引記載シ常ニ現品ヲ表示スルモノトス
器械ヲ工業擔當看守等ニ渡シタルトキハ第三號雛形ニヨリ貸付明細簿ヲ製シ各擔當別ニ區分シ交付ノ都度配印セシム擔當者ニ於テハ其所管ニ係ル器具明細表ヲ造リ(第四號雛形)揭示シ以テ一覽ニ供ス
工業器械ニシテ消耗品ニ屬スル油蔴繩ノ類ハ便宜第七號雛形ノ器具渡簿ヲ以テ下付スルコトヲ得

一 備品

備品ハ廳中囚人刑事被告人ノ部ニ分テ別紙第二號雛形ニ依リ備品臺帳ヲ調製シ受拂貸渡修繕等ヲ精確ニ記載其殘高ト倉庫現品ト符合セシム且一覽ニ便スル爲メ現品ハ品目ニ分テ一定ノ場所ニ藏置シ一品目毎ニ第一號書式ノ掛札ヲ爲シ出入ノ際差入記載シ常ニ現品ヲ表示スル者トス

備品ヲ工場擔當其他事務所等ニ交付スルノ手續ヲ爲ストキハ別紙第三號雛形ニ依リ備品貸付明細簿ヲ製シ備付箇所毎ニ區分シ交付ノ都度擔當或ハ保管者ヲシテ配印セシム

各備付ノ場所ニ於テハ第四號雛形ニ依リ其所管ニ係ル諸品明細表ヲ造リ揭示シ一覽ニ便ス

備品ニシテ消耗品ニ屬スル者(假令ハ箸、桶繩ノ類)ハ便宜第七號雛形ノ備品受渡簿ヲ以テ下付スルモ妨ケナシ

一 被服臥具

被服臥具ハ第二號雛形ニ依リ被服臥具臺帳ヲ調製シ品目別ニ受拂貸渡修繕ヲ精確ニ記載シ其殘高ト倉庫現高トヲ符合セシム其一覽ニ便スル爲メ現品ハ品目ニ別テ一定ノ場所ニ藏置一品目毎

カノ部 監獄

ニ第一號ノ掛札ヲ爲シ出入ノ都度差引記載シ常ニ現品ヲ表示スルモノトス
 被服臥具ハ洗濯及囚人貸與等ノ爲メ一定ノ量數ヲ豫備トシテ調所擔當ニ交付シ置クモノトス
 調所擔當ハ被服臥具ノ貸與及洗濯ヲ左ノ帳簿ニ依リ受授スル者トス被服臥具受拂明細簿(第五
 號雛形)ヲ製シ受授ノ際ハ其受授スル處ノ者之ニ調印シ擔當ニ於テハ貸與返還洗濯現在ヲ詳記
 一覽ニ供スルモノトス
 洗濯ハ一定ノ日ヲ以テ工場別ニ取纏メ女監ニ交付洗濯セシム故ニ之レカ受授ヲ明ニスル爲メ洗
 濯物交付簿(第六號雛形)ヲ造リ工場擔當及女監取締ノ間ニ於テ受授ヲ確實ナラシムヘシ
 一消耗品
 消耗品ハ廳中囚人刑事被告人ノ區分ヲ爲シ(第七號雛形)ニ依リ消耗品受渡簿ヲ製シ受拂ヲ確實
 ニシ殘高ヲ現品ト符合セシム且一覽ニ便スル爲メ品目ヲ分チ一定ノ場所ニ設置第一號書式ノ掛
 札ヲ爲シ出入ノ差引記載シ常ニ現品ヲ表示スルモノトス
 一米麥鹽味噌野菜
 此類ニシテ殘品ヲ生スル者アルトキハ前項取扱ニ準據スヘシ

○監規第三一號

懲治人及幼年囚學科授業規程別紙ノ通り相定ム

明治二十四年十一月十二日

長野縣監獄署長
典獄 櫻井高尙

(別紙)

懲治人及幼年囚學科授業規程

第一條 十六歳未満ノ囚人及懲治人ハ監獄則第三十一條ニ則リ此規程ニ準シ授業スルモノトス
 但十六歳未満ノ別房留置者モ亦之ニ準ス
 第二條 授業時間ハ三時間トシ四月二十日ヨリ九月十日迄ハ午前八時ヨリ十一時マテトス九月十
 一日ヨリ四月十九日迄ハ午前九時ヨリ十二時迄トス
 第三條 授業中ハ起居動作ハ最モ嚴格トシ席ヲ離レ若シクハ便所ニ行クヲ許サス
 第四條 授業ノ便ニ供スル爲メ豫メ第一號書式ノ課業時間表ヲ調製スヘシ
 第五條 學科課業及等級ハ都テ明治二十二年規第一四號ニ依リ試験ヲ經テ昇級セシム
 第六條 試験ハ大小ノ二ニ別テ小試験ハ毎月末教師適宜ニ之ヲ行ヒ大試験ハ三ヶ月毎ニ監獄書記
 又ハ看守長立會ノ上之レヲ施行シ及第者ニ第二號書式ノ修業證書ヲ付與ス
 但シ受業者ハ入學ノ日ヨリ起算シ刑期三ヶ月以下ノモノハ小試験ヲ以テ卒業科目ヲ檢定シ別
 ニ證書ヲ付與セス
 第七條 試験採點ハ一科五問題一問題二十點トシ滿點ヲ百トス其平均六十點以上ヲ及第トナスト
 雖モ一科零點ナルトキハ平均六十點ニ及下雖モ及第ノ數ニ入ルヲ得ス試験終了ノ上ハ第三號書
 式ノ試験得點表ヲ調製シ其都度典獄ノ檢閱ニ供スヘシ
 但刑期三ヶ月以下ノ分ハ卒業課目表ト一纏シ差出スヘシ
 第八條 此ノ規程ニ依リ授業シタルモノハ毎年二回(前期七月十日迄 後期一月十日迄)卒業科目表ヲ調製シ終學四月別
 表ト共ニ典獄ノ閱覽ニ供スヘシ
 (書式略ス)

○監規第三四號

守 警 課
監 獄 支 署

本年五月監規第一六號在監人出入取扱順序中囚人新入及放免ノ際獨房ニシムル義ニ付テハ監房數僅少ノ爲メ實行難致場合モ有之趣ニ候處右ハ囚人感化上尤必要ノ事件ニシテ放免及新入ノ際ハ必ス晝夜獨居拘禁シ他囚ト嚴然離隔シ犯罪ノナスヘカラサルヲ或ハ犯罪ニ依リ生シタル直接及間接ノ損害家族財產等萬般ニ關スル既往將來ヲ沈思默考セシメ改悟ノ善道ニ誘導スルノ精神ニ付其主趣充分服膺相成當時俄ニ實行難相成モノトセハ不得止當分ノ内左記ノ通取扱相成度此旨及通達候也

長野縣監獄署長

明治二十四年十二月二十一日

典獄 櫻井高尙

- 一同順序第一條第三項末文及全第六第三項獨房へ拘禁中居房作業ハ科セサルモ妨ケナシ
- 一房數僅少ニシテ晝夜トモ離隔シ能ハサルトキハ晝間ノミ一房一囚トシ夜間ハ雜居セシムルモ可ナリ

○監規第二號

監獄官吏稱呼例左ノ通相定ム

長野縣監獄署長

明治二十五年一月十三日

典獄 櫻井高尙

- 一署長ノ書記以下書記看守長ノ看守以下看守ノ押丁ニ對シテハ左ノ如ク呼フ
- 何書記
- 何看守長
- 何看守
- 何押丁
- 一署員ノ典獄ニ對スルキハ(支塔モ之ニ準ス)左ノ如ク呼フ
- 署 長
- 一押丁ノ看守以上看守ノ看守長以上ニ對スルキハ左ノ如ク呼フ
- 何看守殿
- 何看守長殿
- 何書記殿
- 一全班ノ稱呼ハ互ニ官姓ヲ呼フモノトス

○監規第六號

監 獄 署
監 獄 支 署

工作事務取扱細則別冊之通改定明治二十五年四月一日ヨリ執行ス
但長野縣監獄工作係事務取扱細則及監獄工業取扱手續ハ全日ヨリ廢止ス

カノ部 監獄

明治二十五年三月三十日

長野縣監獄署長

典獄 櫻井高尙

(別冊)

監獄工作事務取扱細則

- 第一條 囚人ノ入監シタルルキハ身分帳簿ニ依リ署長ノ許可ヲ得テ役業ヲ指定シ工場擔當ニ通知ス
- 第二條 囚人ヲシテ甲業ヨリ乙業ニ轉セシムルルキハ身分帳簿ニ依リ審議シ署長ノ採決ヲ經テ轉役通知簿ヘ其理由ヲ記シ看守長ヲ經工場ニ通知ス
- 第三條 囚人ヲシテ外役セシムルトキハ使役通知簿ヲ以テ人員場所及ヒ出役時間等ヲ前日中ニ守警課ニ通知ス可シ
- 但特ニ指定シタル外役ハ此限ニ非ス
- 第四條 工業ノ素品製造品ヲ整理スル爲メ左ノ帳簿ヲ置ク
 - 素品工別原簿
 - 製造品工別原簿
 - 是ハ簿記帳ヲ用フ
 - 素品受拂明細簿
 - 製造品受拂明細簿
 - 製造品販賣報告簿
 - 製造品除賣明細簿
 - 權収金明細簿

工錢收入明細簿

囚人給與錢書留簿

- 第五條 素品製造品受拂明細簿ハ工別ニ品目ヲ分チテ受拂ヲナス可シ
- 但品目ニ分チ難キ物品ハ雜部ニ入レ受拂ヒヲ爲ス
- 第六條 製造品價格書留簿ハ素品工錢潤益金物品ノ員數單價配號ヲ明記シ製品販賣代ノ標據トス
- 第七條 製造品販賣報告簿ハ製造品ノ販賣ヲ出納吏ニ示スモノニテ製品代收入ノ參考トス
- 第八條 製造品除賣明細簿ハ諸官衙及一個人ニ製品ヲ除賣シタルルキ或ハ工錢ノミニテ囚人ヲ貸與シタルルキノ工錢等ノ人別毎ニ詳記スルモノトス
- 第九條 權収金明細簿ハ物品代價ノ全額ニ充タス精算ヲナス能ハサルモノヲ人別毎ニ明細記載シ收入ヲナスノ原料トス
- 第十條 工錢收入明細簿ハ役業上ニ於テ徵收シタル工錢ヲ工別記載スルモノトス
- 第十一條 囚人給與錢書留簿ハ給與シタル金額ヲ工別ニ記載シ置モノトス
- 第十二條 工業素品ハ見本品ヲ示シ或ハ見本品ヲ徵シ廣ク代金ノ積蓄ヲ召集シ撰定ノ上購入ヲ議ルモノトス
- 第十三條 工業素品ヲ購入シタルルキハ關係者二名以上ニテ調査シ物品受取濟ノ上金員ノ支拂ヲ請求スヘシ
- 第十四條 製造品ノ注文ヲ受ケタルルキ及製作セントスルルキハ工業擔當者ニ命シ素品材料及人夫工錢ヲ見積セ其適否精査ノ上製造ノ命令ヲナス
- 第十五條 製造品命令ハ擔當者ノ見積ヲ以テ工業主任署名捺印ノ上監獄署ハ庶務課長支署ハ支署

長ノ檢印ヲ受ケ製造ヲ命スヘシ

第十六條 製造品命令ヲ受ケタル片ハ其素品ノ概算渡ヲ請求シ客年規第二一號ノ手續ニ依リ整理スヘシ

第十七條 製造品出來ノ上ハ素品工錢明細書ヲ添ヘ工作主任ニ送付スヘシ

第十八條 製造品ノ送付アリタル片ハ疊ニ假渡ヲナシタル物品ト對照シ素品ヲ拂製造品ノ受入配帳換ヲナスヘシ

第十九條 製造品ハ現金販賣ヲ目的トスト雖モ製造品賣捌ノ契約ヲナシタル者及諸官衙ノ注文品或ハ監獄ノ工業ヲ請負タル者ハ此限リニ非ス

第二十條 毎年三月六月九月十二月末日ノ現在素品製品ヲ調査シ及其一期間素品ノ買入製品ノ出來高等明細調書ヲ翌月十日限リ監獄署長ニ差出ス可シ

第二十一條 服役囚延人員及工錢給與錢等工別ニ仕譯毎月分翌月七日限リ監獄署長ニ差出ス可シ

第二十二條 囚人ノ科程及料定工錢ハ毎月首メニ於テ前月ノ成績ヲ調査ノ上黜陟スルモノトス

第二十三條 各工作場ノ擔當看守ハ工業日課ヲ整理シ毎月分翌月三日限リ工作主任ヘ交付スヘシ

第二十四條 工作擔當看守ハ科程ノ了否調査簿ヲ製シ置キ毎月分翌月一日工作主任ヲ經テ署長ノ閱覽ニ供スヘシ

第二十五條 註文品ヲ製出スルハ註文日時ノ順序ニヨリ着手スヘシ

但官衙ノ註文品及ヒ殊ニ至急ヲ要スルモノハ署長ノ認可ヲ經變更スルコアルヘシ

第二十六條 製造品ヲ除賣シタル片ハ製造品除賣明細簿ニ記載出納更ニ報告シ且ツ製造品明細簿ノ拂ヲ記載スヘシ

第二十七條 前條中記載ナキ事務ハ監獄署長ノ指揮ヲ受クヘシ

第二十八條 素品製造品器具ノ整理順序ハ客年六月廿四日監獄署長達ニ依ル

○監規第七號

守 警 課

囚人動作順序別紙ノ通り相定メ來ル廿日ヨリ實施ス

長野縣監獄署長

典 獄 櫻井高尙

明治二十五年四月八日

(別紙)

囚人動作順序

一囚人ハ總テ號令ノ下ニ動作セシムヘキモノニシテ其順序左ノ如シ

開監鈴

一此鈴一振ヲ報スレハ第一工場ニ出役スヘキモノ、監房ヲ開キ二振ヲ報スレハ第二工場ニ出役スヘキモノ、監房ヲ開クノ順序ニシテ第三第四第五第六各工名ニ等シキ鳴數ヲ報スルニ從ヒ

開監スヘキモノトス

開監鈴ヲ報スルヤ極メテ瞬速ニ各監房ヲ開キ先ツ在房囚ヲシテ水桶及便器ヲ房外ニ出シ一面房内ヲ掃除セシムヘシ但受持看守押丁ハ房内掃除及臥具取片付等粗漏ナキヤ深ク注意ヲ要ス

一房内掃除ヲ了ルヤ左ノ令ヲ下スヘシ

一出監

此令ニテ各房毎ニ順次出監シ本監前面標柱ニ依リ順次二列ニ整列セシムヘシ

一 整列了レハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 氣ヲ附

一 倣ヘ

一 番號

此令ニテ前列右翼ヨリ稱呼左翼ニ了ル是レ則人員ノ點檢ナルヲ以テ深ク注意ヲ要ス

一 點檢了レハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 (右)(左)ヲ向ケ

一 前へ進メ(但シ一人ツ、進行セシムルヲ要ス)

此令ニテ前列(右)(左)翼ヨリ順次檢身室ニ進行シ檢身了レハ姿勢ヲ正フシ工場看守所ニ至リ其前面ニ整列セシム

一 整列了レハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 氣ヲ附 倣ヘ 番號

一 (右)(左)ヲ向ケ着席

此令ニテ喫飯スヘキ指定ノ場所へ一人ツ、順次着席セシム但食事ノ場所ハ工場ノ模倣人員ノ

多少ニヨリ幾組ニ分ツモ妨ケナシ又有賞者非有賞者トハ其席ヲ區別スルヲ要ス

一 着席了レハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 配食用意

此令ニテ豫テ配食ノ爲メ撰定シタル囚人若干名(可成有賞者ヲ撰定スルヲ)一齊ニ起立シ工場入口ニアル食

物ヲ看守所ノ前面ニ運搬シ直立シテ令ヲ待タシムヘシ

一 配食

此令ニテ(右)(左)翼ヨリ順次配食ス其順序左ノ如シ

第一飯第二汁又菜第三箸

一 配食了ルヲ待テ左ノ令ヲ下スヘシ

一 喫飯

此令ニテ全囚黙禮シ然ル後喫飯セシムヘシ但喫飯時間十二分間トス

一 喫飯了ルヲ見テ左ノ令ヲ下スヘシ

一 配湯

此令ニ依リ(右)(左)翼ヨリ順次ニ配湯セシム

一 喫飯了レハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 禮

一 食器集メ

此令ニテ右撰定ノ囚人食器ヲ看守所前面ニ集ム其順序ハ左ノ如シ

第一箸第二食器

一 納メ

此令ニテ食器ヲ工場入口ニ搬出シ運搬囚ハ元ノ位置ニ復サシムヘシ

一 運搬囚元ノ位置ニ復スレハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 行開

- 此令ニテ行圃ノモノ起立シ一定ノ場所ニ整列セシム
- 一 整列了レハ左ノ令ヲ下スヘシ
- 一 (右) (左)ヲ向ケ前へ進メ(但一人ツ、進行セシムルヲ要ス)
- 此令ニテ一人ツ、順次圃ニ向テ進行スヘシ但往路歸路ヲ區別ス
- 一 右了レハ左ノ令ヲ下スヘシ
- 一 就役用意

此令ニテ各自器械ヲ集メ席ニ就キ就業ノ用意ヲナスモノトス
 此時一定ノ時間ニ至ルヲ待テ中央看守所ヨリ鈴ヲ以テ就役ヲ報スレハ各工場一齊ニ役ニ就ク
 モノトス

- 一 中央看守所ヨリ正午十二時ヲ報スレハ各囚一齊ニ役ヲ止メ其場ニ正座若クハ直立セシメ一面選
 定ノ囚人ヲシテ配食ノ用意ヲナサシメタル後テ左ノ令ヲ下スヘシ
- 一 集マレ

- 一 此令ニテ喫飲スヘキ場所ニ正座セシメ其他各項ノ順序ニ全シ
- 一 罷役ヲ報シタルトキハ全時ニ左ノ令ヲ下ス可シ
- 一 器械集メ

- 一 此令ニテ指定ノ場所ニ器械ヲ納メシム
- 一 集マレ

此令ニテ喫飯ノ席ニ就カシムヘシ
 一行圃ノ度數ハ三食後及^{自四月}至^{自五月}九時^{自十月}午前九時^{自十一月}至^{自十二月}午前十時トス尙ホ^{自五月}午後三時ニ一度之ヲ爲サシム

九時十時及午後三時ノ行圃ハ中央看守所ヨリ鈴ヲ以テ報ス又行圃ノ順序ハ毎時前項ニ示スカ如
 シ
 一 還房ノ鈴ハ一振ヲシテ第一工場ニ報シ第二第三第四第五第六各工場名ニ等シキ鳴數ヲ報ス
 此報ヲ得タル各工場受持看守ハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 整列

此令ニテ正座ノ囚人起立シテ一定ノ場所ニ集メシム

次ニ

- 一 氣ヲ付
- 一 傲ヘ

一番號

- 一 (右) (左)ヲ向ケ前へ進メ(但一人ツ、進行セシムルヲ要ス)

此令ニテ檢身室ニ向テ進行シ檢身終レハ本監前面標柱ニ依リ二列ニ整列セシム

- 一 右整列スレハ左ノ令ヲ下ス可シ

- 一 氣ヲ付
- 一 傲ヘ

一番號

- 一 (右) (左)ヲ向ケ前へ進メ(但一人ツ、進行セシムルヲ要ス)

此令ニテ各自自己ノ房前ニ整列セシメ看守長ノ來ルヲ待ツ看守長臨檢スレハ一人ツ、襟番號
 ヲ呼ヒ入房セシメ錠ヲトサス

- 一 入房後ハ一人乃至二人順番ヲ以テ差遣ヲ引カシメ房ノ入口ニ向テ正座セシム
- 一 典獄其他囚人ノ禮ヲ受クヘキ官吏工場炊場巡視ノ片ハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 氣ヲ付ケ

此令ニテ各囚役ヲ止メ正座若クハ直立シ禮ヲ受クヘキ人ニ正面ノ方向ヲ取ラシム

一 禮

一 就役(罷役時間内ナレハ直レ)

一 途中其他外役所等ニテ前項ノ順ヲ以テ敬禮ヲナサシメ難キ場合ハ單ニ禮ノ號令ヲ下シ敬禮セシム

一 醫局及浴場往復ノ片モ多人數護送ノ片ハ工場ニ於テ先ツ診察ヲ乞フヘキモノ及入浴スヘキモノ

ニ對シ左ノ令ヲ下スヘシ

一 整列

一 (右)(左)ヲ向ケ一列前へ進メ

此令ニテ醫局或ハ浴場ニ向ヒ進行セシムヘシ

浴場ニ至レハ脱衣箱前ニ整列セシム(凡三十名之レヲ折半シテ半數宛轉換)左ノ令ヲ下スヘシ

一 脱衣 一 洗

一 入浴

此令ニテ入浴シ三分ヲ經過セハ左ノ令ヲ下スヘシ

一流シ

此令ニテ浴中ヨリ出テ身體ヲ洗滌ス(三分間)

一 入浴(三分間)

一 出浴

一 裝衣(此間三分間)

右了レハ前項ノ例ニ依リ工場ニ復サシム

一 一定ノ場所ニ外役セシムヘキ囚人アル片ハ喫飯前押丁ヲシテ連鎖錠予メ撰定シタル囚人ヲシテ

草鞋笠等ヲ整列セシムヘキ場所ニ配置セシムヘシ

一 前條ノ場合ニ於テ外役スヘキ囚人ハ喫飯ノ場所内役囚ト區別シ喫飯終レハ左ノ令ヲ下スヘシ

但行廁ハ外役先キニ於テ爲サシムルコトヲ得

一 整列

一 (右)(左)ヲ向ケ前へ進メ

此令ニテ中央八角ノ傍廣場ニ進行シ二列ニ整列セシムヘシ

一 整列スレハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 氣ヲ付ケ 一 倣

一 番號

此令ニテ工場担当ヨリ外役護送看守ニ點檢受授ヲ爲サシム

一 前列ニ歩前へ進メ

一 連鎖

此令ニテ速カニ連鎖ヲ施ス可シ

一 連鎖了レハ左ノ令ヲ下スヘシ

一 用意

此令ニテ草鞋ヲ穿テ笠ヲ右手ニ持タシム

一 用意整フレハ左ノ令ヲ下スヘシ

- 一 後列詰メ進メ
- 一 (右)(左)向ケ前へ進メ
- 此令ニテ進行セシム但脱去リタル下駄ハ撰定囚ヲシテ一定ノ場所ニ納メシムヘシ
- 一 引揚ケタル時モ八角前へ整列セシメ左ノ令ヲ下スヘシ
- 一 前列二歩前へ進メ
- 一 仕度ヲ取レ
- 此令ニテ草鞋及笠ヲ取り前ニ置カシム
- 一 解鎖
- 此令ニテ速カニ連鎖ノ取り外シスヘシ
- 一 (右)(左)ヲ向ケ前へ進メ
- 此令ニテ一人ツ、下駄ヲ持チ井戸ニ向テ進行セシメ洗ヒ了レハ工場擔當ノ前面へ整列セシメ
- 左ノ令ヲ下シ囚員ノ受授ヲ爲スヘシ
- 一 氣ヲ付ケ
- 一 一做ヘ
- 一 番號
- 一 (右)或ハ(左)へ向ケ
- 一 着席

○監規第一一號

看守長看守部長ハ同一ノ勤務ヲ爲スハ勿論ニ付左ノ例ニ依リ勤務候様致度爲心得此段通達候也

長野縣監獄署長

典獄 櫻井高尙

明治二十五年五月二十八日

- 一日午後六時出勤 甲
- 二日午前六時出勤 乙
- 二日午後六時出勤 丙
- 三日午前六時出勤 甲
- 三日午後六時出勤 乙
- 四日午前六時出勤 丙
- 四日午後六時出勤 甲
- 五日午前六時出勤 乙
- 五日午後六時出勤 丙
- 以下倣之

○監規第一四號

看守教習細則左ノ通相定ム

庶務課
守警課
監獄支署

長野縣監獄署長

明治二十五年六月十三日

典獄 櫻井高尙

第一條 新ニ採用シタル看守ハ二ヶ月間夜勤トシ左ノ時間ニ依リ教習ス

監獄則全施行細則
監獄ニ關スル諸規則心得及刑法ノ大意

壹時間

實習

壹時間

第二條 舊任看守ハ其夜勤ニ當ルモノニ限り前條ニ依リ教習ス

第三條 教官ノ講義ハ之ヲ筆記セシム

第四條 教官ハ臨時試験ノ爲メ問題ヲ示シ答按ヲ付セシムヘシ

第五條 試験點數ハ一百ヲ以テ滿點トシ各科評點平均六十以上ヲ及第トス

第六條 受業員ハ左ノ各項ヲ遵守スヘシ

一 教習中ハ教官ノ指揮命令ニ遵ヒ且恭敬順從ヲ專トスヘシ

一 教官ノ着席及退場ノ節ハ制規ノ禮ヲナスヘシ

一 教官ニ對シ質問應答ヲ爲スルハ起立スヘシ

一 病氣ニ因リ出所スル能ハサルキハ監獄署長ニ届出ツヘシ

○監規第一六號

看守押丁姿勢ニ就テハ己ニ數次通達訓示等モ致置候處尙ホ往々不紀律ノ輩ヲ見ル之レ未タ充分其監督ノ徹底セサルモノニ付一層注意相成度又帽紐ハ之ヲ掛クル者及掛ケサル者ト各自ノ勝手ニ爲サシムル如キ有様ナレモ將來ハ必ス頤下ヘ牽着セシムヘク尙衣囊ヨリ紐類其他ヲ垂下現出スル等尤モ不體裁之義ニ付嚴重監督相成度此段及訓達候也

明治二十五年七月一日

長野縣監獄署長
典獄 櫻井高尙

○監規第一七號

自今別紙第一號ノ身分票ヲ作り身分帳簿ニ編綴シ囚人身分ニ對スル精確ノ來歴ヲ詳悉スヘシ最モ拘留其他ノ短期刑及本人ノ申立ニ依リ身分上別ニ取調ヲ要サスト認ムルモノハ本表ヲ使用セサルモ妨ケナシ第二號日課優劣表ヲ製シ懲治人幼年囚人學業教授ノ參考トス右二表ハ教誨師ヲシテ擔任セシメ身分票ハ回答ヲ得タル後身分帳主務ニ交付シ編綴セシムルモノトス

明治二十五年七月十五日

長野縣監獄署長
典獄 櫻井高尙

(表式略)

○監規第一八號

今般教誨施行規定別紙之通改正ス

明治二十五年七月十八日

長野縣監獄署長
典獄 櫻井高尙

教誨施行規程

第一條 教誨ハ平易明晰温厚篤實能ク彼等修身ノ目標無形精神ノ教育者トナリ以テ國家的觀念宗教的思想ヲ感起シ智徳ヲ養成セシムルヲ要ス

カノ部 監獄

第二條 教誨ヲ分テ四種トス

- 一 個人的教誨
- 二 類別教誨
- 三 工場教誨
- 四 全囚教誨

第三條 個人的教誨ハ尤モ頻繁ニ被教誨者ノ居房ニ訪問シ社交的交際ヲ爲シ時ニ或ハ彼ニ相談役トナリ脩身齊家ノ情誼ヲ涵養スルヲ要ス其場合左ノ如シ

- 一 入監後ノ獨房囚
- 一 放免前ノ獨房囚
- 一 分房監ノ在囚
- 一 遭喪免役囚
- 一 懲罰囚
- 一 病監入療囚

但シ以上六項ハ少クモ毎日一回ヲ欠クヘカラス

第四條 前條記載ノ外分掌例第二十九條ノ受賞者又全第三十條ノ旨趣ニ基キ工場ヲ巡視シ其行狀ノ良否ニ依リ又全第三十一條ノ監房巡回ノ節等總テ個人教誨ヲ必要トス

第五條 特赦假出獄等ノ言渡ヲ受ケタルモノアルトキハ又前條ニ全シ

第六條 類別教誨ハ監獄則施行細則第九十三條ノ規定ニ從ヒ日曜日午後及免役日ニ於テ罪質ノ全一ナルモノヲ類別シ教誨堂ニ集メ看守長臨場ノ上順次ニ施行スルモノトス尤モ教誨ノ都合ニ依リ相似ノ罪質ヲ合同スルコトヲ得

但免役日ハ午前八時ヨリ日曜日ハ正午喫飯後直ニ始ムルモノトス

第七條 工場教誨ハ施行細則第九十四條ノ規定ニ準シ休役間又ハ罷役後各工場ニ於テ順次ニ施行スルモノトス

第八條 全囚教誨ハ特赦假出獄及賞表授與式等ノ時典獄書記看守長臨場ノ上施行スルモノトス

第九條 前條規定スル處ノ四種ノ教誨ニ就キ其效果ヲ調査シ甲號教誨日表ヲ製シ毎月末署長ノ閱覽ニ供スヘシ

第十條 教誨師ハ教誨ノ材料ニ供スル爲メ乙號教誨原簿ヲ製シ囚徒在監中ノ行狀觀察及改心ノ微候如何ヲ明了ニ記入シ將來ノ參考ニ供シ丙號類別教誨簿ヲ製シ工場教誨簿ヲ製シ月表ノ參考トスヘシ

但原簿ハ統計年報ノ材料トス

(帳簿様式略ス)

○監規第二十五號

各 課 所
各 監 獄 支 署

保管物品取扱順序別冊ノ通相定ム

但諸帳簿整理方ハ客年六月中ノ達ニ由ル尙全達中第三號帳簿書式ハ別冊ノ通改正ス

明治二十五年十一月二十六日
長野縣監獄署長
典 獄 五十嵐小彌太

保管物品取扱順序

一 署中各保管ノ諸物品整理ノ爲メ各課所掛ニ各一名ノ物品取扱主任者ヲ定メ當該課所掛需用ノ物品保管出納一切ノ責ニ任セシム各工場監房擔當者モ其責ニ任ス但課所掛へ交付シタル物品ト雖モ取締上ニ關シテハ主務課掛ハ總テ監督ノ任アルモノトス

- 二 應接所小使諸所其他課所掛ニ屬セサル物品保管ハ主務課掛其責ニ任ス
- 三 諸物品供給ハ左表ノ定數及品種(諸物品ノ寸法ヲ定ム)ヲ以テ定限トス
但現員又ハ現況ニ依リ之ヲ増減スルヲ得各支署ハ各定數ヲ定メ届出ヘシ自後増減アルハ其時々監獄署長ノ許可ヲ受クヘシ
諸物品定數表 但該表ハ別ニ之ヲ定ム
- 四 各取扱主任者ヨリ諸物品ヲ請求セントスルハ第一號書式ノ請求簿ニ品目數量及需用ノ事由ヲ詳細シ課長ノ檢印ヲ得テ主務課掛ヘ請求スヘシ
- 五 主務課掛前條ノ請求ヲ受ケタルハ其需用ノ當否ヲ調査シ相當ト認ムルハ定數表ニ照シテ之ヲ交付ス若シ該表以外ノモノナルハ署長ノ裁決ヲ經タルニアラサレハ交付スルヲ得ス
- 六 各取扱主任者諸物品ヲ受取タルハ共用専用ヲ區分シ第二號書式ノ保管物品受批簿ニ記載整理スヘシ
- 七 各取扱主任者ヘ交付シタル物品毀損シタルハ各自専用ノ分ハ各自専用或ハ工業器具等ハ各取扱主任其事由ヲ詳細シタル證明書ニ課長ノ檢印ヲ得現品ヲ添付引換又ハ修繕ヲ請求スヘシ若シ添付セサルハ引換ヲ爲スヘカラス
- 八 各取扱主任者ニ於テ受取リタル諸物品不用ニ屬シタルトキハ第三號書式ノ還納書ニ添付課所長ノ檢印ヲ得テ主務課掛ニ返付スヘシ
- 九 各取扱主任者ニ於テ受取タル各保管ノ物品ハ濫リニ課所掛外ニ貸與變換スヘカラス
- 十 毀損還納ニ係ルモノハ第四號ノ不用品留簿ニ記入シ置キ其現品ハ倉庫中別所ニ藏置シ他日競賣ニ付スヘシ

廿五年十二月廿三日
第三十二號
以テ第三十二號ヲ
項ヲ挿入スル

- 十一 各保管物品ヲ故意怠惰ニアラスシテ亡失毀損シタルハ本人ヨリ證明書ヲ差出サシメ署長ノ檢閱ニ供スヘシ
- 十二 前條ノ場合ニ於テ若シ故意怠惰ニ係ルモノアルトキハ其顛末ヲ詳細ニ取調署長ノ裁決ヲ請フヘシ
- 十三 主務課掛保管ニ係ル倉庫ハ主任者臨場スルニアラサレハ開閉スルヲ得ス其鎖鑰ノ鍵ハ取扱主任之ヲ保管ス
- 十四 各支署長ハ六ヶ月毎ニ第五號書式ノ物品出納計算書ヲ監獄署長ニ進達スヘシ
- 十五 監獄署ハ六ヶ月毎ニ物品計算書ヲ調製シ前條ノ物品出納計算書ト統計シテ署長ノ檢閱ニ供スヘシ
- 十六 諸物品購入及各課所ノ請求ニ依リ交付セントスルハ或ハ毀損品返還アリタルハ凡テ諸物品受渡回簿ニ記載署長ノ裁定ヲ經タル後其手續ヲナシ諸帳簿ニ記入スヘシ
- 十七 本順序ニ署長課長トアルハ各支署ニ於テ各支署長各掛主座ノ者ニ適用ス
(諸帳簿様式略ス)

○監規第二十七號

土地建物保管及官舎管理手續別冊ノ通り相定ム

課 所
監 獄 支 署
長野縣監獄署長

明治二十五年十二月二十六日

典獄 五十嵐小彌太

(別冊)

土地建物保管及官舎管理手續

- 一 土地建物トハ敷地建坪諸建具窓掛竈爐綠柵雨桶便器幕各工場敷物及土塀柵矢來板塀門水門下水溝井戸硝子電柱電線物干等ニ至ル迄苟モ土地建物ニ付屬スルモノヲ總稱ス
- 二 土地建物保管ノ爲メ左ノ帳簿圖面ヲ備置キ經理課之ヲ管理ス
 - 土地建物保管臺帳
 - 建坪建具内覽簿
 - 官舎貸渡簿
 - 修繕請求簿
 - 圖面
 - 不用品書留簿
- 三 新設ニ係ルモノハ庶務課之ヲ調査審按直轄ト非直轄工事トヲ區別シ圖面ヲ付添經理課ニ其手續ヲ稟議スヘシ
- 四 看守長及各擔當者ハ諸建物ノ破損ヲ認メタルトキハ經理課ヘ備ヘアル修繕請求簿ニ記載全課ヘ修繕ヲ請求スヘシ
- 五 經理課ハ前二項ノ請求ヲ請ケタルトキハ速ニ實際ヲ調査シ新築或ハ修繕ノ手續ヲ爲スヘシ
- 六 前項新築修繕了了ノ上ハ設計ト實際トヲ調査シ相當ト認ムルハ夫々領收ノ手續ヲ了シ諸帳簿ニ記載保管スヘシ
- 七 署長ヨリ監獄附屬官舎ニ入合ヲ命セラレタルモノハ引渡ヲ經理課ニ請求スヘシ
- 八 經理課ハ前項ノ請求ヲ請ケタルハ借受人立會ノ上官舎及附屬具一々檢閲シ官舎貸渡簿ニ記名調印セシメタル後貸渡スヘシ又借受人ハ諸建物毀損セサル様鄭重ニ注意保管スヘキモノトス
- 九 官舎及附屬具自然ニ腐朽破損シタルハ又ハ新設必要ト思料シタルハ其理由ヲ詳記シ經理課

へ請求スヘシ

- 但微少ノ汚損等ハ借受人ニ於テ常ニ修補シ清潔ニ注意スヘキモノトス
- 十 經理課ハ前條請求ヲ請ケタルハ實地ヲ調査シ不得止ト認メタルハ署長ノ裁定ヲ經テ修補ノ手續ヲ爲スヘシ
- 十一 甲乙官舎交換ヲ命セラレタルハ又ハ相對交換ノ許可ヲ得タルハ經理課ハ貸渡簿ニ照シ變換ノ手續ヲ爲スヘシ
- 十二 官舎借受人自儘ニ建家付品等ヲ新設スヘカラス若シ新設シタルハ或ハ不注意ヨリ毀損シタルモノアルハ本人ニ自辨修繕セシムルモノトス
- 十三 官舎ヲ返還セントスルハ返納書ヲ署長宛差出スヘシ
- 十四 前項ノ場合ニハ經理課ハ貸渡簿ト現品ト對照ノ上引渡ヲ請フヘシ
- 十五 諸建物不用ニ屬スルハ諸帳簿記載一定ノ場所ニ藏置シ他ニ使用ノ見込ナキハ或ハ使用スヘカラサルモノハ不用品書留簿ニ記載他日競賣ニ附スヘシ
- 十六 各監獄支署ハ土地諸建物變換或ハ新設ニ係ルモノハ別紙雛形ニ倣ヒ詳細圖面ヲ添付其都度監獄署長ニ届ケ出ツヘシ
- 十七 本手續ニ署長課トアルハ各監獄支署ニ於テハ各支署長各掛主任ニ適用ス

(帳簿説明及様式略ス)

○監規第二十八號

監獄 支署

カノ部 監獄

六百四十三

監獄醫ハ囚人懲治人處罰執行前後ニ於テ體量ヲモ檢シ身分帳簿懲罰表執行欄内ニ記入スヘシ

長野縣監獄署長

明治二十五年十二月二十二日

典獄 五十嵐小彌太

○監規第二十九號

監獄支署

在監人食糧ハ別紙献立表ニ依リ十五日間分ヲ豫定調製一葉進達スヘシ

長野縣監獄署長

但本表調製ノ際ハ監獄醫ニ諮問スヘシ

明治二十五年十二月二十二日

典獄 五十嵐小彌太

(別紙略)

○監乙第二一九號

監獄支署

會計事務上法律規則又ハ慣例ニ基キ取扱フ處ノ手續中單ニ内務部長ヨリ變更スヘキ通牒アリタル
片ハ其變更前一應監獄署長ノ認可ヲ受クヘク義ト心得ヘシ

長野縣監獄署長

明治二十五年五月五日

典獄 五十嵐小彌太

長野縣現行令達類聚下卷終

明治二十六年九月廿日印刷

明治二十六年十月一日發行

下ノ卷

編纂 長野縣知事官房

發行人

西澤喜太郎

長野縣上水内郡長野町三千廿七番地

印刷人

八尾新助

東京市神田區錦町三丁目八番地

發賣所

松葉軒書房 西澤喜太郎

長野縣長野大門町

同

松葉軒書店 西澤支店

全上田原町一丁目

同

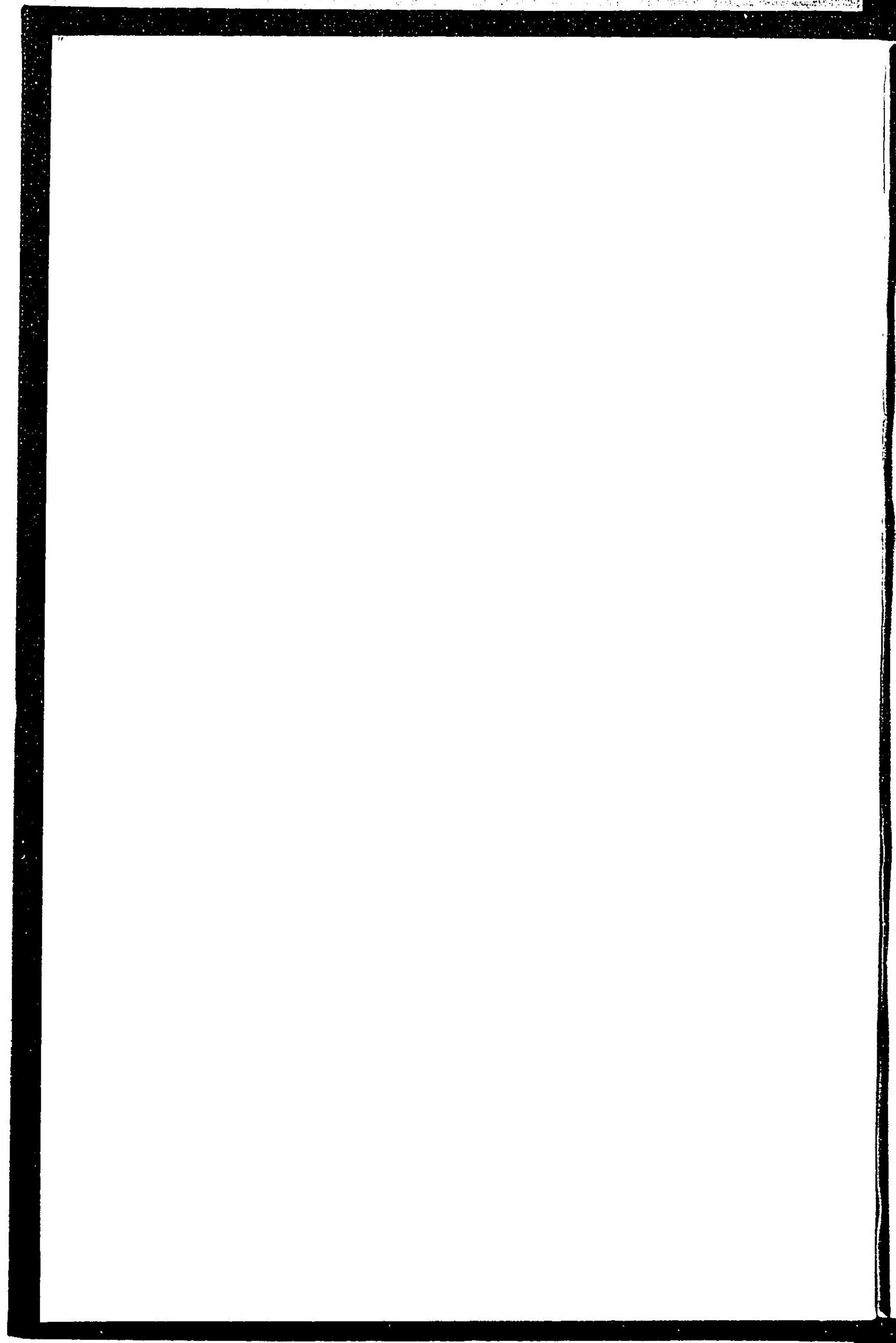
西澤活版所 西澤俊司

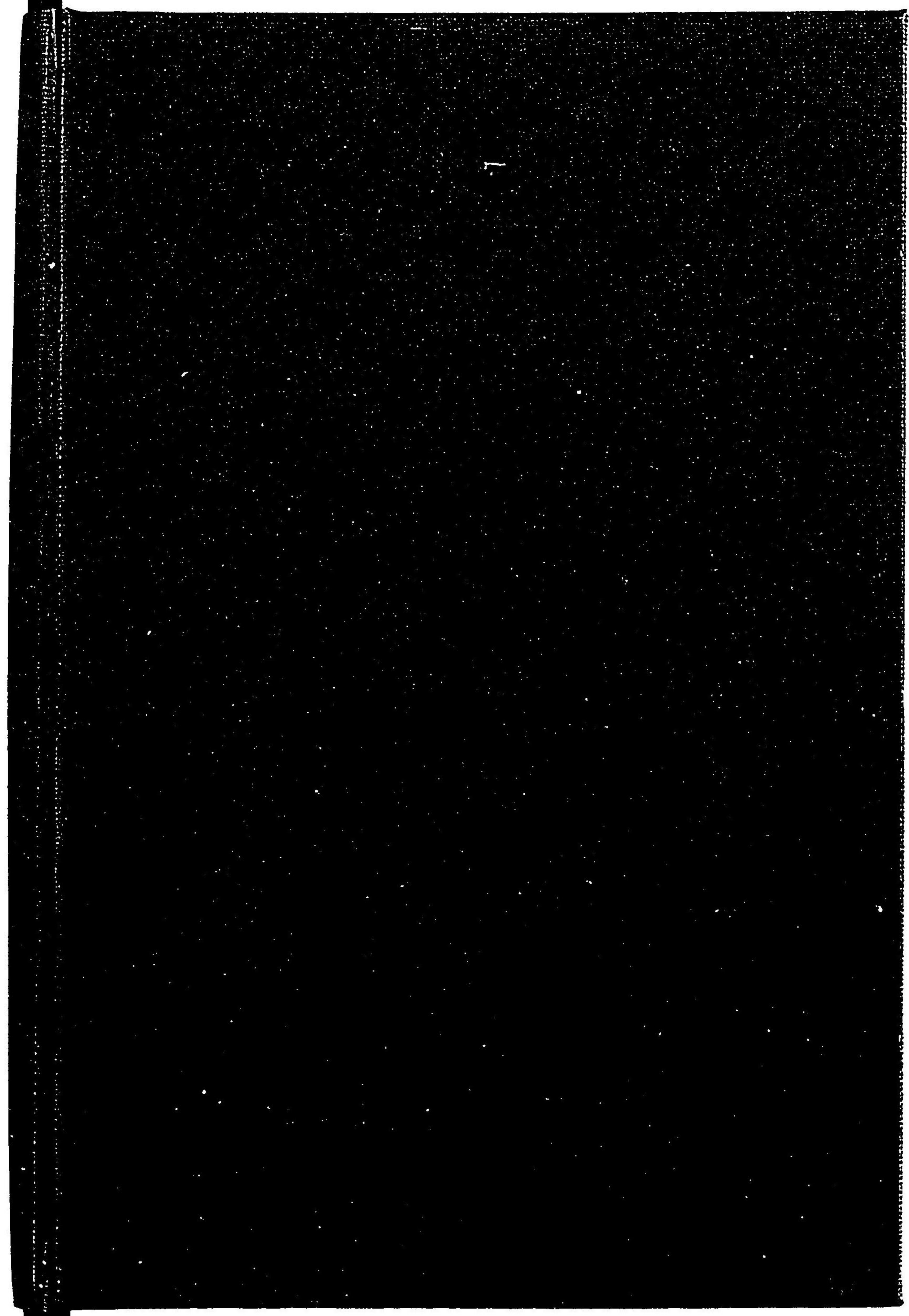
長野縣縣町

EX 3D52



115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200





禁電子式複写

031350-002-7

CZ-1113-55-02

長野県現行令達類聚

長野県

M26

BBD-0562



